

# 西海ブロック水産業情報

No. 108(2020年1月～3月)

## 増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
<p>特になし。</p>	<p>○有明海                      ・1月3日から冷凍網は出庫され、1月10日から摘採開始、製品の質は良好。                      ・1月6日～1月16日まで珪藻(スケルトナマ属)が赤潮化、色調低下なし。                      ・あかぐされ病は、降雨、高水温により強い病勢が継続。壺状菌病は2月27日に初認、記録上最遅。                      ・2月27日にケイ藻(キートセロス、スケルトナマ属)の増殖を確認、3月2日に色落ち確認、3月下旬まで継続。網の撤去は2月27日から開始、4月6日までに網の撤去が終了、4月11日から支柱撤去を開始。                      ・期間中の水温は「甚だ高め」で推移。                      ・冷凍網生産は、生産枚数9億3千5百万枚(過去5年同期比 95%)、生産金額125億6千6百万円(過去5年同期比101%)、平均単価13.44円(過去5年同期比+0.78円)。                      ・生産累計は、生産枚数13億1千7百万枚(過去5年同期比102%)、生産金額182億3千2百万円(過去5年同期比111%)、平均単価13.85円(過去5年同期比+1.06円)。</p> <p>○豊前海                      【カキ養殖】                      ・8月以降の台風や寒気の接近に伴う水温の乱高下による影響で、へい死が発生し長期化したのが、年内には収束。その後は海況も安定し、成長、身入りとも良好。生産量はほぼ昨年並みまで回復。                      【栽培関連】                      ・「かぐや装置」によるアサリ稚貝生産、網袋による干潟での放流試験を実施中。</p>	<p>○有明                      ・ノリ養殖                      冷凍網期は1月3日から始まったが、高水温と1月下旬の継続した降雨の影響によりアカグサレ病の被害が例年よりも大きかったため、冷凍網期の生産枚数は昨年よりもやや少なかった。冷凍網期の生産枚数および生産金額は、前年度と比較してそれぞれ100%および102%であった。                      ・カキ養殖                      太良町大浦地区の令和元年度の生産はほぼ終了している。今年度は夏期にホヤ等の付着物が大量に付着し、カキの大量死が発生したことから、生産量は直近10年で最も少なくなる見通しである。令和2年度生産分については、1月17日に宮城県産の種ガキを搬入し、3月中旬に抑制棚で抑制を開始した。垂下筏への沖出しは4月から順次開始されている。</p> <p>○玄海                      ・カサゴ:                      1月14日から種苗生産開始。                      3月末時点で全長25～35mm約10万尾飼育中。                      ・クロアワビ:                      平成30年度産:                      1月中旬から2.7万个(30mmサイズ)を配布済。                      3月末時点で殻長25～28mmサイズを約1万个飼育中。                      令和元年度産:                      10月29日から種苗生産開始。                      3月末時点で殻長8～11mm約20万个飼育中。                      ・マナマコ:                      3月17日からアオナマコの種苗生産開始。4/1採苗予定。                      4月上旬からアカナマコの種苗生産開始予定。</p>		<p>【1月】                      マダイでアノプロジスクス症発生                      【2月】                      ブリで連鎖球菌症(Ⅱ型)発生                      トラフグでヤセ症状(肝機能障害)、ギロダケルス症発生                      【3月】                      発生なし</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<p>・イワガキ養殖用種苗 6千個出荷(30mm)</p>	<p>県南地区におけるワカメ養殖状況                      平成30年度から日南市3地区において副業的ワカメ養殖が行われており、種系は他県産を利用し、今期は、令和元年12月中旬から令和2年3月中旬まで行われた。1月に入り、一部地区で魚類による食害が発生し、2月中下旬には当該地区のワカメがほとんど消失しているのが確認された。一方、異なる入江の町内の別地区のワカメ養殖においては大きな食害は発生せず、概ね良好な収穫となった。                      同時に、試験的に11月下旬から水温21℃台で展開が開始された早期展開ワカメ養殖については1月中旬時点で目立った芽落ちや成長遅滞等もみられなかった。                      食害を避けて安定した収穫を行うために、早期展開、早期収穫も有効な方法と考えられた。</p>		<p>特記事項無し</p>